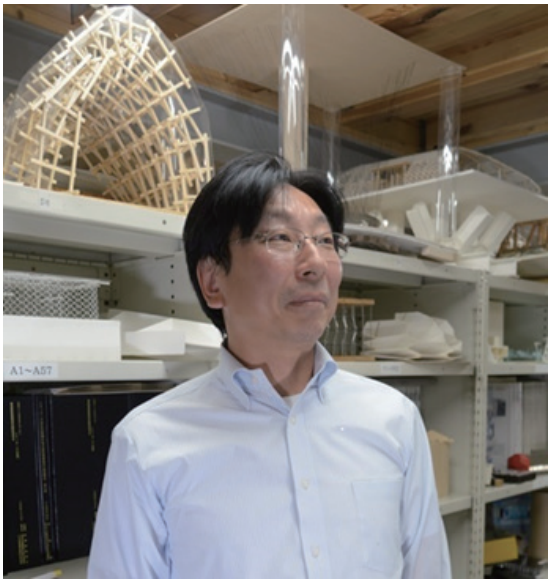
jyukyo dayori
住居だより
ひと と 空間 を科学する

日本女子大学 住居学科のニュースをご紹介します。

No.036
july.2020

topic 1

本年度より赴任された江尻憲泰 教授のご紹介



プロフィール

経歴：1988年3月 千葉大学工学研究科修士終了
1988年４月 有限会社青木繁研究室所属
1996年12月 有限会社江尻建築構造設計事務所代表（現在も継続）、
長岡造形大学特任教授、早稲田大学客員教授等を経て現在に至る。

所属等：日本女子大家政学部住居学科教授、千葉大学非常勤講師、
長岡造形大学非常勤講師、佐渡市建造物保存活用に関する
専門家会議委員他

資格：一級建築士、構造設計一級建築士、
JSCA構造士、耐震診断・耐震改修技術者（各種）

受賞歴：日本構造デザイン賞、日本建築学会作品賞他多数

著書：「最高に楽しい建築構造入門（エックスナレッジ）」他初学者向け著書多数

学生へのメッセージ

私は新築建物、重要文化財、事件・事故調査、新素材の応用等多くの実務を手がけてきました。“もの”づくりのスキルを身につけるには、実際に自分で考えてかたちある“もの”を作ることが一番です。“もの”づくりとは、建築だけではなく、大きくは土木構造体や小さくは家具まで様々な人の手により形作られたものを意味していましたが、最近ではランドスケープや都市など更に広い意味で使われることもあります。

皆さんに私の経験や国内外の現状進行しているプロジェクトを通して実際の“もの”づくりの世界を見て貰うことが私の役割であると考えています。実務の場面で“もの”は社会情勢や自然災害の影響、技術的な問題、人間関係により生じる様々な問題を解決しながら造り上げられます。その中から解決すべき内容が研究として掘り下げられ、そして、新しい材料、構法が開発されます。構造デザインの世界で計算やコンピューターはほんの一部でしかありません。皆さんに構造の世界を俯瞰できる知識・感性を身につけて貰えるように一緒に勉強、研究していきたいと思います。

topic 2

第15回 ダイワハウスコンペティション 優秀賞・大和ハウス工業賞　受賞！

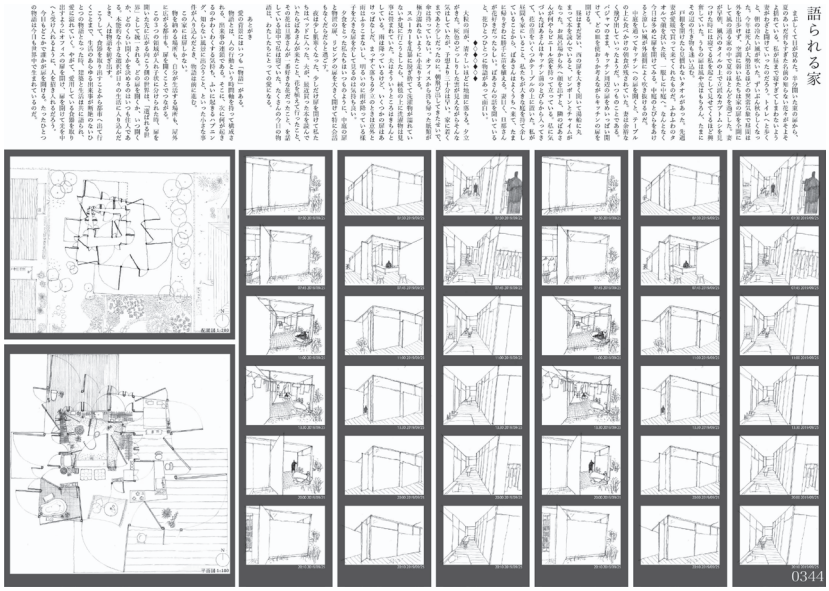
「語られる家」

2019 年度卒業　修士２年　篠原研究室

平井 未央 さん

※共同制作者あり

　愛の背景にはいつも「物語」がある。
物語とは、人の行動という時間軸を持って構成される、出来事の連鎖である。調和のとれた出来事の羅列は、それを乱す出来事が介入することで前に進む。
　この家には扉しかない。
　物を納める場所も、自分が生活する場所も、屋外に広がる都市も、扉を開くことでつながる。３つの領域が入れ子状に分けられた時、扉を開いた先に広がる向こう側の世界は、「選ばれる世界」として統一される。本能的な小さな選択が日々の生活に入り込んだとき、　人は物語を紡ぎ出す。
　食器を取り出すことから都市へ出て行くことまで、生活のあらゆる出来事が断絶のないひとつの物語となった時、建築と生活は共に語られ、愛に溢れていく。
やがて、愛用している食器を取り出すようにオフィスの扉を開け、扉を開けて光を中へと受け入れるように、人を招き入れるだろう。



全国合同卒業設計展「卒、20」　最優秀賞／赤レンガ卒業設計展2020　優秀賞

「プロセニアムのこちら側
－都市の劇場性とドラマ性を内包した仮設劇場－」

2019 年度卒業　居住環境デザイン専攻　４年生平田研究室

山口 あまね さん

　都市と劇場は似ている。都市では、様々な場所で人々が多様の行為を繰り広げ、行為を通して、人々は都市の登場人物となり、その中を体験する。都市を舞台と仮定すると、都市は時に舞台、時に客席として、重層的に構成され、それらの集合体が都市という巨大な劇場を形作っている。その中で人は観客として、また演者として、二重の役割を演じるという、循環的で同時的な効果がある。本制作では、解体と構築を繰り返す都市の中に存在する、空間性やドラマ性を建築化することはできないかと考えた。これを規格化された部材と都市のマスプロダクトで構成された、都市に呼応するように一定の期間ごとに姿を変える仮設の劇場として提案する。

日本女子大学 JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY　住居学科　居住環境デザイン専攻　建築デザイン専攻
〒112-8681　東京都文京区目白台 2-8-1　TEL：03-5981-3452（住居学科中央研究室）
URL：http://mcm-www.jwu.ac.jp/~jyu-ishi/jyu/ui/course0104a.htm

バックナンバーをご希望の方はオープンキャンパスでお声掛けいただくか、左記の住居学科中央研究室にお問合せください。 HPでも公開しています。